

## 授業改善等に関する報告書（2022 年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (前期) 食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
スポーツ栄養学 a	奈良 典子	貴重な意見有難うございました。 今後も皆さんに学んでいただけるようにとめます
ライフステージ栄養学 b	於保 祐子	ライフステージに沿った生理的变化や疾患、更に運動やストレス下での身体の応答を理解し、こうした変化に沿った食生活管理の重要性をわかっていただければと思い授業を行いました。得られた知識や考え方を、健康増進など将来への力として生かしてください。資料を2in1にしてみたのですが、文字が小さかったようですね、ご指摘ありがとうございます。改善します。
栄養マネジメント実習	森川 希	今年度は、全面的に対面授業を実施できました。ダグラスバッグによるエネルギー代謝の測定では、感染予防に配慮し各回の測定者数を限定して実施しました。 アンケートからは、エネルギー代謝の測定や食事調査実習、ケーススタディなど実践的な内容についてのコメントを多くいただき、対面授業の意義が大きいことがわかりました。 実習レポートの考察は難しかったと思いますが、管理栄養士として将来必要な思考力を身に付けられるよう、今後も実習内容を工夫していきます。
栄養マネジメント論	高橋 加代子	授業の内容は、限られた回数で臨床栄養について説明しなければならないので、資料が持ち越しになることがありました。計画的にとの指摘ですが、テキストにない情報を伝えたいことも多いためもあります。 コメントでは、「臨床栄養の知識が身についた」とあり、安心しました。 資料に関しては、今後、改善を目指します。
栄養教育各論 a	辛島 順子	「栄養教育各論a」では、管理栄養士が栄養教育や栄養指導を行う際に必要な行動科学理論やカウンセリングを中心に学びました。 授業の内容と方法、全体についての得点は、平均をやや上回っていましたので、今後も同様に進めていきます。 講義内で状況設定をした事例を取り入れたことにより、行動科学やカウンセリングについての理解が深まったという回答につながったと考えており、今後も可能な範囲で、具体的な内容を組み込んでいく予定です。 3年次の「栄養教育論実習a・b」においては、「栄養教育各論a」で学んだ理論や技術を用いて実習を行います。これらの学びを総合して、今後の臨地実習でさらに理解を深めてください。
栄養教育論実習 a	辛島 順子	「栄養教育論実習a」では、2年次に学んだ行動科学理論やカウンセリングを実際の栄養教育現場で活用するための実習を行いました。 各回の発表については、準備時間が短いという意見と発表を行うことはスキルアップにつながるという意見がありましたので、今後は発表準備の時間を検討し、発表機会を多く持てるように検討していきたいと考えます。
栄養生理学(運動生理学を含む)	筧 慎治	栄養生理学は分子レベルの流れや動きに関するものなので、自分の頭の中で新しい知識を整理し組み立てる作業が不可欠です。生理学に加えて栄養学、生化学の知識も必要になるため、易しい科目ではありません。アンケート結果を見ると、皆さんが自ら基礎栄養学や生化学の講義内容と関連させて理解を深めていたことがうかがえ、感心しました。なお、期末テストは予想を遥かに上回る高得点続出で、全員合格でした。 自分の滑舌があまりよくないため、講義のビデオをアップロードしていますが、復習に便利と好評でした。今後も続けていきたいと思えます。 スポーツ栄養学に関する講義内容についての反響が多く、皆さんのスポーツ栄養学やスポーツ生理学への関心が高いことがわかりましたので、来年度の講義に反映させるとともに（それでは皆さんへの恩恵がないので）、後期の解剖生理学bで充実させたいと思えます。 筧 慎治
解剖生理学 a	筧 慎治	解剖生理学aは、図を一目見ればわかるものではなく、易しい科目ではありませんが、最終的には多くの学生さんに概ね理解していただけたようでは安心しました。内容的には、普通の栄養系の解剖生理学の教科書より少し深い内容を（ただし枝葉は省略した上で）お話ししましたが、これは皆さんが将来臨床ではたらくときに、医師や看護師と共通の基礎の上でコミュニケーションしてもらいたいと考えてのことです。講義のビデオのアップロードは、復習に役立つと好評でしたので、後期の解剖生理学bでも同じ対応をしていきます。期末テストは予想を遥かに上回る高得点が多く、全員が合格でした。ただし、言葉の説明をもっとわかりやすくして欲しい、スライドの説明を増やして欲しいというリクエストもいただいております、今後さらに改善していくつもりです。 解剖生理学aは主に人体の構造（肉眼レベルから分子レベルまで）についてお話ししましたが、後期の解剖生理学bでは、その構造の知識を基礎に、様々な生理学的な機能（ダイナミックに生命が躍動する様子）についてより深くお話ししていく予定です。

[2022 (前期) 食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
解剖生理学実験	笥 慎治	<p>皆さんは毎回真剣に講義と実習の両方に取り組んでくれましたので、教員として大変楽しく実験を行えました。レポートもよく考えられたものが多く感心しました。アンケートでは授業内容等に概ね満足していただけたという解答がほとんどを占め、安堵致しました。今後もわかりやすさの改善に取り組みます。</p> <p>感想の中には、「去年の解剖生理学の座学と関連していて、解剖生理学についての理解がより深まった。」「知識と一致させる力が身についた。」というものもありました。また、解剖の実験は、初めての哺乳類の解剖に衝撃を受けた学生さんも少なくなかったと思いますが、多くの皆さんのレポートからは、様々な臓器が繋がってはたらく生命を感じ取る貴重な機会になったことが読み取れました。皆さんが管理栄養士として活躍されるときに、この経験が生きることを祈っています。</p>
基礎栄養学	中村 彰男	<p>前期の半年間、「基礎栄養学」の講義お疲れさまでした。基礎栄養学は管理栄養士の国家試験の午前中の範囲で一科目として重要な科目です。でも、国試勉強として大切であるというよりは、私たちが生きていくためにとても重要なことを学べると思っています。試験も皆さんよく勉強していて平均点は素晴らしかったです。後期の講義もこの調子で頑張ってください。</p>
基礎栄養学実習	松島 照彦 中村 彰男	<p>実験レポート作成にかかる時間が長すぎるとの意見がありました。初めて書く実験レポートの作成は初めは慣れていないので、負担に感じると思います。しかし、だんだん要領よく書けるようになります。実際に、初めのレポートと比べて、最終回のレポートは多くの人がよくまとまってレポートらしくなっていました。努力の成果が現れています。学部生はたくさん時間があるからいろんな勉強をしてほしいので、後期の生化学実験はレポートの提出方法などを少し考えて負担のないように考えたいと思います。</p>
基礎化学	山崎 壮	<p>食生活科学科の3専攻で同一内容の授業を行っていますが、授業アンケートの大問ⅡとⅢのほぼすべての項目の評価が、全体平均と比べて、管理栄養士専攻と健康栄養専攻ではほぼ同程度でしたが、食物科学専攻では0.7~1.2ポイント低かったです。定期試験の得点分布が3専攻ともに65点~80点に多かったとは言え、3専攻ともに96点超から30点未満まで幅広く分布していました。また、授業アンケートの自由記載の感想では、理解が深まったというプラス評価が多かった一方で、難しすぎて理解できなかったというマイナス評価もあり、両極端の感想がありました。この傾向は昨年度と同様です。食物科学専攻と健康栄養専攻だけでなく、3専攻の中で最も理系の色彩が強い管理栄養士専攻を含めて、この2年間の入学生に占める文系（非理系）志向の学生の比率が確実に増加していることから、典型的理系科目である「基礎化学」に興味を持っていない学生がいることは当然の結果であると考えます。「基礎化学」を履修してみて自分はこの分野にはどうしても興味を持ってなかったのであれば、それを素直に受け入れてよいと思います。化学に興味を持てなかったならば、自分が興味を持てるほかの領域を見つけ出し、その領域の勉強に自分のエネルギーを投入して行ってほしいです。（山崎 壮）</p>
基礎調理 2	中川 裕子	<p>授業への意欲は人により様々でしたが、班員と協力する姿勢は全体的にすばらしく、次第に作業がスムーズになり片付けまでの時間が短くなっていました。デモが見づらかったとの意見もありましたので、人数や形態を検討していきます。</p>
給食マネジメント実習	山岸 博美	<p>後期も引き続き、体調に留意して進めていきましょう。</p>
給食経営管理 b	山岸 博美	<p>皆さん 後期の学内実習や3年時の学外実習にその知識を存分に役立ててください。</p>
健康管理論	佐々木 溪円	<p>（2クラス共通のコメントです）大学では高校までの授業と大きく異なり、自ら行動して考えて学ぶことが必要になります。この点は、実践入門セミナーで説明があったと思います。そこで、この授業では、あえて教科書を設定せず、予習や復習で情報を集めて整理する機会としました。筆記試験の成績では、ほとんどの人が到達目標をクリアできていますから、知識の整理はできていると思います。また、この授業が導入になる公衆衛生学の分野は、単純作業として授業をただ聞いているだけだと、面白味が少なくなります。楽しいと思える人と眠いと感じる人の差は、各回のテーマやキーワードについて授業中も考えながら聞いているかどうかという点が大きく影響します。資料を穴埋めにして欲しいという意見がありましたが、聞き手は穴埋めを書くという作業が必要になり、考えるというマルチタスクができなくなります。なお、この授業は導入部分ですから、試験も簡単なレベルになっています。後期の感染と防御は1回で進む教科書のページが多く、2年生の公衆衛生学は「考える」+「暗記する」という両者が必要になります。試験で覚える知識量も一気に増えますので、「楽勝科目」と思っていると再履修になる可能性が高いので気をつけてください。</p>

[2022 (前期) 食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
公衆栄養学 b	森川 希	<p>今年度は、学外実習による公欠者が多かった1回を除き、対面授業を実施できました。</p> <p>今年度は毎回リアクションペーパーの提出もしくは小テストのいずれかを実施し、授業の受け止め方や理解度を確認しつつ進めました。</p> <p>また、難易度の高い「栄養疫学」の回については、毎年計算作業を取り入れるようにしています。</p> <p>教科書を中心に進めるため、単調にならないように今後も工夫していきたいと思ひます。</p> <p>「パワーポイントを印刷・配布してほしい」という要望に関する回答(「公衆栄養学a」コメントより再掲)</p> <p>この授業は、教科書に沿って進めますが、教科書は「二次資料であり」、記載事項の元となっている行政資料や統計データのような「一次資料」に直接アクセスする習慣を身に付けてもらいたいと思ひています。</p> <p>そのために、manabaに「授業資料」として、それらの資料や掲載サイトへのリンクを貼っています。授業のスライドは、その日の授業の流れや、教科書の該当箇所を示すもので、あえていえば「三次資料」であり、内容の密度は「抜粋の抜粋」です。</p> <p>スライドをそのままレジュメとして配布する授業とは、根本的な目的が異なっているとお考えください。</p> <p>また、これまでに、授業欠席時のレポートを、スライド資料からのコピーペーストとみられる方法で作成するケースがありました。スライドを配布することにより、このようなことが増加すると、上記の目的から遠ざかることにもなりかねません。</p> <p>これらの理由から、今後も印刷配布はいたしません。pdfデータは毎回公開していますので、必要に応じてご使用ください。</p>
公衆衛生学 a	佐々木 溪円	この分野は国試的にはいわゆる暗記科目ですが、現場にでると専門職として判断を求められることが多くあります。時代によって新しい課題が生まれてきますので、卒業後も正確な情報を入手してアップデートを続けていくと良いと思ひます。
食品衛生学 a	大道 公秀	授業アンケートを読ませていただく限りでは、おおむね良好な評価をいただけたと思ひています。楽しく授業に参加いただけている様子の学生もいたようなのでうれしかったです。授業展開では、単調になることなく、授業内で起伏をもたせる授業展開をしていこうとも、アンケートを読ませていただき感じました。
食品加工学 a	守田 和弘	総合的な満足度が全体平均より高いことから、熱心に取り組んでいただけたものと思ひます。
食品加工学実習	守田 和弘	実習おつかれさまでした。総合的な満足度が全体平均より高いことから、満足いただけたものと思ひます。
食品学 b	松岡 康浩	覚えることが多い授業ですが、くりかえし学習してください。まとめテストは事後学習でもあるので、授業内で行わなくてもよいと思ひています。
食品機能論	松岡 康浩	生理学や栄養学と関連付けて理解してください。科学的に機能を評価する切っ掛けになってほしい。
生化学 a	中村 彰男	前期の半年間、生化学aの講義お疲れさまでした。難しいと感じた学生さん達もいたと思ひます。化学反応式や用語を覚えるよりもできるだけ仕組みを理解して貰えるように講義を行いました。私の説明が不十分だったことを反省しております。もし理解できない部分があれば遠慮しないで個別に聞きにきて下さいね。後期の「生化学b」は「生化学a」をベースに少し難しくなるかも知れませんが、楽しみながら一緒に学びましょう！
生化学 a	中村 彰男	前期の半年間、生化学aの講義お疲れさまでした。難しいと感じた学生さん達もいたと思ひます。化学反応式や用語を覚えるよりもできるだけ仕組みを理解して貰えるように講義を行いました。私の説明が不十分だったことを反省しております。もし理解できない部分があれば遠慮しないで個別に聞きにきて下さいね。後期の「生化学b」は「生化学a」をベースに少し難しくなるかも知れませんが、楽しみながら一緒に学びましょう！また、頂いたコメントに答えられるように、もう少しゆっくり話すように勤めますので後期の「生化学b」も宜しく願ひします。
総合演習 a	松島 照彦	症例を見て、栄養管理にまで結びつける力が付いたようで何よりです。
総合演習 c	於保 祐子 高橋 加代子	応用栄養学の知識を有機的に結びつけて実際に使えるものにできればと思ひ授業を行いました。頭の中の整理に役立てば幸いです。今後ももしっかり最後まで学修してゆきましょう。

[2022 (前期) 食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
総合演習 d	森川 希 山岸 博美	「この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか？」の質問に対して、「とてもよくあてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が回答者の90%以上でした。 また、「国試の解説がわかりやすかった」「問題を解く力がついた」等の感想が複数あり、嬉しく思います。 総合演習の目的は国家試験合格に限ったものではありませんが、様々なアプローチで問題を解くことを介して、各自が苦手分野を見つけ、結果的に得点が上げられるような工夫を今後も検討していきます。(森川)
調理学実験	数野 千恵子	全体的に良い評価をいただきました。 実験を通して、実際の調理操作中に生じる様々な現象は、科学的に説明できものであることを理解し、今後の調理実習や座学で、さらに理解を深めてください。日常の調理でも「なぜ？」の疑問を持って、考える態度を意識してみてください。 なお、1年の最初なので、レポートの書き方に関するコメントに時間を取られた部分がありましたが、書き方が良く分かったとの感想もいただき、今後の授業に活かしてください。
調理学特別講義	中川 裕子	授業内課題などをみると、みなさん熱心に取り組んでいたと思います。授業に対する満足度、成長を感じた、という問については全体平均とほぼ同じであり、これまでの復習ができたようです。国家試験に活かされたという意見があった一方、過去問題をもっと取り入れてほしいという意見があったので次年度以降の授業に取り入れたいと思います。
特別講義 a	中村 彰男 笥 慎治	後半の講義を担当させていただきました。国試対策としての講義を担当するのは今年が初めてで、「試験に役立つ」内容には道半ばと自覚していますが、授業後の質問や感想は軌道修正に大変参考になりました。質問は今後もいつでも受け付けていますので、遠慮なくどうぞ。笥 慎治
毒性学	大道 公秀	授業アンケートの回答を読ませていただく限り、授業への評価はおおむね良好であったと見受けました。自ら問いを立て答えていただく学習スタイルを継続させていきたいと考えました。また授業内容をまとめることも学生さんにとって役立つようにも思えました。授業で疑問に思ったことや気になったことを、引き続き大切にいただき、学びを継続されることを期待したいと思っています。
微生物学	守田 和弘	オンデマンド型の授業形式でしたが、総合的な満足度が全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。
臨床栄養学 a	松島 照彦	疾患への理解が深まったようで良かったです。画面が見にくかったようですみません、後期は見やすい教室にして貰うようにします。
臨床栄養管理学総論	高橋 加代子	臨床栄養学系の授業は、初めての言葉が多いですので、予習復習が必須となります。大学生は高等教育を受講しているのです、授業の内容が理解できるように自学学習に励んでください。 資料のクレームは、工夫して改善します。
臨床栄養管理学総論	高橋 加代子	臨床栄養学系の授業は、初めての言葉が多いですので、予習復習が必須となります。大学生は高等教育を受講しているのです、授業の内容が理解できるように自学学習に励んでください。 臨床の知識が深まったとのコメントは嬉しいです。 早口との指摘ですが、これでも例年よりも遅くしております。この授業は授業内で説明する内容が多いので、工夫を考えます。
臨床栄養管理実習	高橋 加代子	この授業は臨床栄養学実習ですので、献立作成については3年生ですので、献立作成の手順や基礎はすでに身につけていることを想定しています。そのため、献立作成の5日の期間は他校と比較しても平均的ですし、他校は3日としています。授業回数が7回と限られていますので、それに合わせて努力し、能力を高めていただきたいと思います。何事もレベルアップするには、ハードルを上げる必要があります。 また、資料の字化け等については、資料をバージョンアップしていますので、時間がなくミスする箇所があるかもしれません。今後は、さらに注意します。